

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	観光課長	廣川 正
市民-07	実施事業	観光運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 観光課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	地域が一体となった観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

観光情報発信等嘱託員によるSNSを利用した新鮮な観光情報の発信を行った。 三浦半島観光連絡協議会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広域観光宣伝や情報交換等を行った。 第3期鎌倉市観光基本計画の推進委員会を開催した。 今後も増加が予想される外国人観光客の実態を把握する調査を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	6,715	18,028	当初予算(千円)	6,890		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	6,715	18,028	一般財源	6,890		
事業経費運営	人員配置数	1.8	1.8	人員配置数	1.8		
	人件費(千円)	15,733	16,424	人件費(千円)	15,266		
	総事業費(千円)	22,448	34,452	総事業費(千円)	22,156		
	市民1人当りの経費(円)	127	195	市民1人当りの経費(円)	126		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 観光基本計画推進委員会における市民委員

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	鎌倉市内の観光スポット及び観光資源に関する最新情報や観光客の動向について取材し、観光ホームページやツイッター等の各種情報媒体を通じて、市内内外への迅速な情報発信を継続して実施するため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉の観光資源・情報を発信し、観光振興を図った。 また、各種協議会等を通じて観光推進を図りつつ、各種協議会等の負担金については、引き続き効果や必要性について検証が必要。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	観光基本計画に基づく取組実施体制を早期に構築し、市が主導的役割を担って、各実施主体の役割分担や実施スケジュールについて記載した実施計画(アクションプラン)を推進させる。 引き続き、各種協議会負担金の使用方法、効果、必要性について検証していく。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	観光基本計画推進委員会のあり方や各部会などの体制の見直しやアクションプランの進行管理について検討を行った。 広域協議会の負担金については、その効果・必要性について整理し、脱会等も含め検討を進めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	観光基本計画推進委員会では、計画推進体制の見直しや、同委員会に求められる役割を明確にするようにと各委員から指摘を受けていた。今後は推進体制の大幅な見直しを実施した上で、アクションプランを遂行していくこととする。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成29年度) 単位:千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	20,424	16,480	3,028	7,655	6,115	8,210	977	6,311	51,431

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ数の観光客が訪れており、他市町村に比べ多いことが伺える。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				平成29年度 数値調査件数:511件 +18件 (WEB)
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0				
	実績値	79.2	79.5	76.9	78.9	88.1					
	達成率	93.2%	93.5%	90.5%	92.8%	103.6%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。
-----------------------	--